

外郭団体経営健全化方針の概要と取り組み状況

【名古屋食肉市場株式会社】

経営健全化方針の記載内容	令和元年度の取り組み結果
[市] ・債務超過解消のために市支援や経営改善の指導を継続する。	・債務超過解消の早期回復に向けて経営改善の指導を行うとともに、CSF（豚熱）による集荷及び経営への影響を注視しながら、特別集荷促進事業補助などの支援をした。
集荷経費の削減 ・出荷奨励金等の引き下げを出荷者と調整し、経費の削減に取り組む。 ・出荷懇請による集荷を強化する地域について、輸送経費助成など集荷経費の負担が大きい遠方から、集荷経費の負担が少ない近隣へシフトしていくことにより、利益の増加を図る。	・出荷奨励金等の引き下げについて、出荷者と協議し、令和２年度に向け一部見直しを行った。 ・近隣の銘柄牛であるみかわ牛銘柄推進協議会の立ち上げに向け、出荷者・買参人とともに取り組み、令和２年度以降も継続して協議していくこととなった。
新規事業の検討 ・卸売市場法改正による規制緩和を受け、収益を拡大するため、国の推奨する輸出事業やＩＴの活用の可能性を含め、新規事業への取り組みを検討する。 ・新たに部分肉加工事業に取り組み、買参人のニーズへの対応及び利便性向上、新規買参人の開拓を図る。	・卸売市場法改正による規制緩和や輸出事業の可能性について、情報収集に努めた。 ・部分肉加工事業に取り組み、買参人のニーズへの対応及び利便性の向上に努めた。なお、部分肉加工事業の実施にあたっては、子会社に事業を移管して実施している。
人件費の抑制 ・正規職員数を見直し、嘱託・臨時職員を活用することで人件費の抑制を図る。	・中途採用による現場の人員確保を行ったが、前年度管理職員退職による補充は行わず人件費は減少した。
ブランド牛の活用 ・出荷者・買参人を交え、ブランド牛の強化に取り組み、取引単価の上昇・市場価値の上昇を図る。	・出荷者・買参人とともにみかわ牛銘柄推進協議会の立ち上げに取り組み、令和２年度以降も継続して協議していくこととなった。
その他 ・引き続き、資金需要に応じた借入による支払利息の縮減、販売管理費の節減など経費削減に取り組むとともに、与信管理強化による債権管理につとめ、出荷懇請活動による取扱高の確保に取り組む。	・令和２年度に行う借入の支払利息の縮減に向け、金融機関との交渉に努めた。 ・出荷懇請活動による取扱高の確保に取り組んだ。

団体名(名古屋食肉市場株式会社)

○法人の財務状況
(貸借対照表から)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
資産総額	3,435,033	3,482,618	2,977,778
負債総額	4,671,091	4,532,066	3,919,508
純資産総額	-1,236,058	-1,049,449	-941,730

(損益計算書から)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
経常収益	7,066,440	7,102,783	6,720,117
経常費用	6,890,815	6,894,376	6,576,860
経常損益	175,625	208,407	143,257
経常外損益	8,044	48,282	12,771
当期純損益	119,900	186,609	107,718

○財政的リスクの状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
債務超過額	1,236,058	1,049,449	941,730
損失補償、債務保証及び 短期貸付けの合計額(A)	3,600,000	3,600,000	3,600,000
標準財政規模(B)	642,220,441	644,498,894	646,827,243
(A)／(B)	0	0	0